

人と音を結び

Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
https://clanago.com

プレイガイド
アイチケット
☎0570-00-5310



ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO

①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社 マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区栄2-11-22 アバンテージビル301
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: http://www.mane-pro.com




喜びの岡田安由、りん太郎姉弟

おめでとうー安由(あゆ)さん、りん太郎くん。25年12月12〜14日、ロシアのサンクトペテルブ

ルクで開催された「第9回セルゲイ・クーセヴィツキー記念・若手コントラバス国際コンク

岡田安由、りん太郎姉弟が第1位 ロシアのコントラバス若手コンクールで

ルで、名古屋在住の岡田安由(中)、岡田りん太郎(小6)姉弟が同点1位に選出された。

同コンクールは8〜20歳の若手コントラバス奏者を対象に開催今回は動



高柳安佐子

画審査を通過した22人によって本選が行われた。安由はヘンデル「ヴァイオリンソナタ第4番、クーセヴィツキー「コントラバス協奏曲を、りん太郎はヴァンハルとピヒルの

「コントラバス協奏曲」を演奏した。日本人の第1位獲得は初で、岡田姉弟が海外でのコンクールに出演したのも初。

姉弟は、セントラル愛知交響楽団のコントラバス奏者・高柳安佐子の長女と長男。4歳から高柳の指導を受け、姉弟ともに大阪国際音楽コンクール、KOBÉ国際音楽コンクールほか多数のコン

クールで上位入賞を果たしている。また昨年4月には熱田文化小劇場で開催された「あつたクラシックフェス2025」に出演。本格的な演奏を披露し聴衆を驚かせた(本紙既報)。

安由は「楽器はレンタルだったし、直前に演奏の順番が変わったりして緊張しました。でも演奏を始めたら落ち着きました。結果発表はロシア語だったので、私たちが1位になったことに気がし

ませんでしたが、りん太郎も「緊張していたので、最初の音を出すまではドキドキしました。1位と分かり、びっくりました。そこ振り返る。

姉弟が幼少からコントラバスに取り組んだのは母(高柳)の影響だが、他の楽器にはない重低音に魅力を感じたからと

「最近、自分の内面の充実が、やっとなんか出てくるようになってきた」と感じます。上手い歌ではなく、良い歌にこだわって歌い続けたい」と笑う。

「聞き手・竹本真哉」

20年ぶり「やっとかめ探偵団」

劇座創立40周年を記念し上演



昌、天野鎮雄を中心に、村嘉奈子、藤岡広子らが大奮闘した爆笑喜劇、待望の再演である。

時は日本初の大坂万博が開催され、オイルショックが起こった1970年代初頭、名古屋の下町。独り暮らしの老婆が殺害され、町内は大騒ぎ。駄菓子屋に集う好奇心旺盛な6人の婆さんたちは、独断と偏見にあふれる妄想、空想を巡らせ、犯人探しに取り掛かる。



主演は女性演劇賞受賞の堀優子
3月6〜8日 愛知県芸術劇場小ホール

あの山田昌が主演した名古屋の名物喜劇が20年ぶりに上演される。劇座の創立40周年と、堀優子の第5回名古屋女性演劇賞受賞を記念し、3月6〜8日(全4回)愛知県芸術劇場小ホールで行われる「やっとかめ探偵団」(作・清水義範、演出・岡田一彦)である。

「歌うことで世界が広がった」



エルムに初登場した荒木美英子

加藤修彦、岡山加代子にシャンソンを学び、初

「昌先生には敵わない。それでも観客の皆さんに、昔の方が良かった、と言われたくない。腹をくくって体当たりです」と闘志を込めた。

「シャンソンの扉」

と描いてきた日本画をやめてから。アトリエにこもり、自分に向き合っていて、自分に引き合っていて、孤独に描くことに限界を感じ、描けなくなりましてと振り返る。

「最近、自分の内面の充実が、やっとなんか出てくるようになってきた」と感じます。上手い歌ではなく、良い歌にこだわって歌い続けたい」と笑う。

「最近、自分の内面の充実が、やっとなんか出てくるようになってきた」と感じます。上手い歌ではなく、良い歌にこだわって歌い続けたい」と笑う。

The Sixth Season
スター・クラシック・ガラコンサート
輝きを放つ瞬間

STAR CLASSICS GALA 2026

600名様(各公演200名様)ご招待
[抽選/全席指定]
【応募締め切り】
3月9日(月)

【会場】メニコン シアターAoi
※未就学児童の入場はご遠慮ください。

3.27(金) 18:30開演 [18:00開場] ピアノ・角尾 菜 トロンボーン・黒田逸加 ソプラノ・河手瑞月 ヴァイオリン・小山けいと	3.28(土) 15:00開演 [14:30開場] チェロ・米本 希 フルート・鈴木びあ乃 クラリネット・長尾春奈 【特別演奏】 ヴァイオリン・水越菜生	3.29(日) 15:00開演 [14:30開場] フルート・福田彩花 ピアノ・天野穂乃香 打楽器・松野弥咲 フルート・山本 葵
--	--	---

【司会者】3.27(金)・28(土)小堀勝啓 3.29(日)平野裕加里
制作/メニコンビジネスアシスト(MBA)イベント・クリエーション部

◎主催/お問合せ 公益社団法人 スター・クラシック協会
Tel.052-938-5557 受付時間 平日10:00~18:00

金井夕子 KANAI YUKO
名古屋公演

2026.3.21 sat 全自由席
open 13:30 start 14:00
charge ¥4,500 +2オーダー

理想のシャンソン空間
Cafe Concert エルム
名古屋市中千種区吹上2-4-5
TEL 052-733-0085

日本テレビ『スター誕生!』に於いてチャンピオンに輝き、「パステルラヴ」(作詞・作曲 尾崎亜美)でデビュー。松本隆、筒美京平、細野晴臣、坂本龍一等が手掛けたオリジナル曲でCDリリース!

7月に第100回定期演奏会 9月には愛知4大オケ共演も 愛知室内オーケストラ 26年度公演ラインナップ

ACO愛知室内オーケストラが2026年度の公演ラインナップを発表した。ハイライトになるのは7月31日、愛知県芸術劇場コンサートホールで開催する「第100回定期演奏会」だ。同演奏会は音楽監督・山下一史の指揮で、座付き作曲家・権代敦彦の「オーケストラ、合唱、オルガンのための委嘱作品」を初演する。

山下一史の指揮で、座付き作曲家・権代敦彦の「オーケストラ、合唱、オルガンのための委嘱作品」を初演する。

99回定期演奏会には「組長」石田泰尚が来演。原田慶太楼の指揮でグラスのヴァイオリン協奏曲「アメリカの四季」を披露する。

スタクラ6期生ガラコンサート 3月27～29日 シアターAoi 各日200人を招待!



西川千雅家元から着付けを学ぶ6期生



クラシックの若手演奏家を総合的に育成する「スター・クラシックス・アカデミア」の第6期生10人が、一年間の受講成果を発表するガラコンサートが3月27、28、29日にメニコシアターAoiで開催される。

クラシックの若手演奏家を総合的に育成する「スター・クラシックス・アカデミア」の第6期生10人が、一年間の受講成果を発表するガラコンサートが3月27、28、29日にメニコシアターAoiで開催される。

また28日は1期生のヴァイオリン水越菜生、29日は同じくフルート山本葵が特別演奏する。



倉知可英と佐藤有沙(チェロ)による「6人組」(25年12月26日)千種文化小劇場を観賞した。



その時、自身が感じたものをダンス芸術として再生させる。コンテンポラリーダンスの神髄ともいえる二つの作品に出合った。愛知県芸術文化協会(ANET)が主催した「創世界であそぶ」(25年12月23、28日・名古屋市民ギャラリー栄)である。



③ イタリア

イタリアには何度か旅行した。有名観光地も一度はいいが、北部のドロミテ地方や、シチリア島、カプリ島が私には好きだ。

イタリアの音楽というと、ヴェルディやプッチーニのオペラ、ナポリ民謡を連想する人が多いと思う。



ヴェネチア(2006年)

パスタにワインそして音楽 数々の名作映画誕生の拠点

代、最初のオペラ作曲家と言われるモンテヴェルディ。ヴェネチアの司祭ヴィヴァルディは「四季」が有名だが、ほかに多くの弦楽合奏曲を残している。

その後バッハの登場、クラシック音楽の主流はドイツに移り、音楽の都ウィーンを中心に華やかな時代を迎える。しかし、ロッシニ、ヴェルディ、プッチーニらがオペラで

大輪の花を咲かせた。その国土の形から長靴に例えられる。日本と同様、南北に細長く、北と南では気候も生活もかなり異なる。だが、どこへ行ってもパスタなど料理とワインは安価でうまかった。

戦後は映画の名作とともに、その主題曲が一世を風靡した。ニノ・ロータは太陽がいっぱい、「ゴッドファーザー」が有名だが私は「ロミオとジュリエット」も好きだ。エンニオ・モリコーネは「荒野の用心棒」で有名になったが「ニュー・シネマ・パラダイス」海の上のピアノスト」が代表作だ。

一昨年11月に亡くなった演出家・木村繁さんを偲び、3月12、15日、ひまわりホールで「木村繁まつり」が開催される。演目は次の通り。

3月12～15日、ひまわりホールで「木村繁まつり」開催



「それいけ!クラシック」を迎えて
秀樹、吉田連(トランペット)を迎え、彼らの歌とコミカルなナビゲートで進行。指揮は辻博之が務めた。

「それいけ!クラシック」(大川博、又吉)の女性陣のファッション、幻想的でロマンチックな照明はクリスマスコンサートならではの。また

た今回は来場者全員に鈴を配布し、オーケストラと「共演」するなど、遊び心満載の演出が施され、例年にも増して楽しいコンサートになった。

遊び心満載、観客との共演も 名フィルクリスマス

毎年楽しみにしている名フィルの「クリスマス・スペシャル・コンサート」(25年12月24日・市民会館フォレストホール)。

今年も男性オペラ歌手トリア「それいけ!クラシック」(大川博、又吉)を迎え、彼らの歌とコミカルなナビゲートで進行。指揮は辻博之が務めた。

その時、自身が感じたものをダンス芸術として再生させる。コンテンポラリーダンスの神髄ともいえる二つの作品に出合った。愛知県芸術文化協会(ANET)が主催した「創世界であそぶ」(25年12月23、28日・名古屋市民ギャラリー栄)である。

壁面には絵画、床には木彫彫点数が展示されているギャラリーの一室。二つ目の秀作はダンサー・佐藤小夜子のソロ(27日)。

この日、この時だけのコラボレーションを紡ぎ上げたのである。

100年前の音楽文化を再生し 舞台批評

「6人組」

ダンサー倉知可英と5人の音楽家による「6人組」(25年12月26日)千種文化小劇場を観賞した。

受講は無料。来年3月末のコンサートに出演。応募は4月15日まで。審査のうえ10人を決める。ガラコンサート、7期生の応募問い合わせは同協会052(9338)5557。

100年前のフランス音楽を解体し、独自の解釈で再生。現代のエンターテインメントとして観客に提示したのである。

前半ではオネゲルの「火刑台のジャンヌ・ダルク」、後半ではサティの「グノシエンヌ第一番」が際立った。ただ、もう一人ダンサー(あるいは客は戸惑ったが、徐々に創意を理解し「100年前の音楽文化を再生する」ラディッシュを楽しんだ。斬新な試みが100パーセント観客に受け入れられた。

コンテの神髄を発揮した2作品

「創世界であそぶ」

その時、自身が感じたものをダンス芸術として再生させる。コンテンポラリーダンスの神髄ともいえる二つの作品に出合った。愛知県芸術文化協会(ANET)が主催した「創世界であそぶ」(25年12月23、28日・名古屋市民ギャラリー栄)である。

壁面には絵画、床には木彫彫点数が展示されているギャラリーの一室。二つ目の秀作はダンサー・佐藤小夜子のソロ(27日)。

その時、自身が感じたものをダンス芸術として再生させる。コンテンポラリーダンスの神髄ともいえる二つの作品に出合った。愛知県芸術文化協会(ANET)が主催した「創世界であそぶ」(25年12月23、28日・名古屋市民ギャラリー栄)である。

壁面には絵画、床には木彫彫点数が展示されているギャラリーの一室。二つ目の秀作はダンサー・佐藤小夜子のソロ(27日)。

壁面には絵画、床には木彫彫点数が展示されているギャラリーの一室。二つ目の秀作はダンサー・佐藤小夜子のソロ(27日)。

スタジオM

楽しいダンスに引き込まれ、客席で足を踏み鳴らしている自分に気付いた。小田真砂世が主宰するスタジオMの35周年公演「History」(25年12月6、7日・東文化小劇場)である。

振り返れば試行錯誤の35年、代わり代わりするメンバーによって、公演はその都度趣を変えた。「スタジオMは、いったいどこへ行くのだろうか」と懸念した時期もあった。何よりの収穫は長女・安藤芽久結の成長である。さまざまなダンス環境

舞台批評

胸詰まる井上ひさしの戦中劇



「紙屋町さくらホテル」

劇団演集

井上ひさしの戯曲は面白いが演じるのは難しい。中でも難しいとされるのが、劇団演集(代表・土屋たかし)が公演した「紙屋町さくらホテル」(25年12月13、14日・愛知県芸術劇場小ホール)である。

第二次大戦末期、広島市の繁華街としてにぎ

わった紙屋町「さくらホテル」で繰り広げられる悲喜こももも。3時間近い長尺で、当然せりふも多い。さらに難儀なのは、出演者全員が劇中劇を演じなければならぬこと。

9人の登場人物はいずれも「訳あり」で、身分を偽っている者もいる。たまたまホテルに居合わせたその面々が、移動演

劇隊の稽古場に紛れ込む。軍事国家への批判、演劇への情熱、言葉へのこだわり、笑いと音楽をまじえた井上ならではの傑作である。

終演後、あることに気付いた。物語は1945年5月の出来事。つまり3カ月後、広島には原爆が投下され、登場人物たちは死んでしまっているのである。それを思うと胸が詰まる。25年は「戦後80年」。果たして26年も「戦後」は続くのだろうか。

好きなものの上手なれ。劇団STRINGSの第11回公演「明日葉の庭」(1月9、11日・昭和文芸小劇場)を見て、そんな諺(ことわざ)を思い出した。出演した15人の上手いこと上手いこと。長い長いキャリアの積み重ね。(お世辞は抜きで)誰が主役を務めてもいいレベルなのである。

堤泰之の脚本、麻創けい子の演出。伊豆諸島の小島に建つシェアハウス

を観客は、若いダンサーたちがダンスを楽しむのは、娘との共演に一歩も引かぬ小田のスタイルとダンス力である。

今年も熱田文化小劇場

60周年公演の勢い継続する熱演

が主催する正絃社の「新春コンサート」(飛翔の音色、伝統は未来へ)(1月10日)に出掛けた。昨年創作した山野の風を感じた。

幕開けは長唄「老松」を、初代家元・野村正峰が編曲した総勢20人の合奏。感心したのは第一

立60周年を迎え、御園座で盛大に記念公演を行った正絃社。その勢いを継続しての熱演だった。

森本・石山、実力者同士の名共演

ファン定着、小空間の邦楽名人芸

芸能集団創の会

名古屋二期会

名古屋二期会が「ニューイヤーパーラコンサート」(1月13日・愛知県芸術劇場コンサートホール)を開いた。第一部は16人によるガラコンサートで、最も印象深かったのは「ある晴れた日に」を歌った森本ふみ子の素晴らしい歌唱。

5団体まとめた小田の構成力に拍手!



スタジオM「Seven Devils」



2025年はラヴェルの生誕150年、ショスタコーヴィチの没後50年、両者の作品が多く演奏された。

今年も楽しみ、多彩なクラシック

私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

今年も楽しみ、多彩なクラシック

今年も楽しみ、多彩なクラシック

会員募集
「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6600円(税込)。

私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します
青山 皆江 神谷久美子 中川 幸作
秋田 昌子 北村 哲也 仲条 優理
荒川 洋子 工藤寿々弥 夏目 久子

今年も楽しみ、多彩なクラシック
8月に「愛知4大オーケストラ・フェスティバル」が初めて開かれ、愛知室内、中部フィル、セントラル愛知、名フィルが、ブラームスの交響曲4曲を競演。

Union "無類派" Viva Albion!

2026.3.6 (土) 19:00開演

電気文化会館 ザ・コンサートホール

virtuosi fagotistae

2026.3.12 (木) 19:00開演

2026.3.16 (月) 19:00開演

王子ホール ザフェニクスホール

平山晶子 with シュターミッツ 四重奏団

2026年3月18日 (水) 11:30開演

2026年3月20日 (金) 19:00開演

電気文化会館 ザ・コンサートホール

上原宏の ☆音楽☆ 聴き歩き



室内楽集団レーベインムジック(桑野郁子代表)の、ベートーヴェン室内楽全曲演奏会「革新の

鈴木理桜、存在感と安定感発揮し
レーベインムジック

軌跡を辿って」が、25年12月22日・アーク栄サロホールでスタートした。初回は「ヴァイオリンソナタ第5番・春」弦楽三重奏のためのセレナーデ」弦楽四重奏第9番・

飯田真未 ピアノ・リサイタル

2026.3.25 (土) 19:00開演

王子ホール

桐朋学園大学卒業生による 第40回 新人演奏会

2026.3.28 (土) 14:00開演

王子ホール

片岡 博明 Katakoki Hiroaki Flute Recital

2026.3.29 (日) 19:00開演

Halle Runde

新鮮さに豊かさ華やかさを加え
ピアノ 匂坂美佳

注目している若手、匂坂(さぎさか)美佳のピアノリサイタル(25年12月25日・電気文化会館)。その魅力が垣間見えた。幕開けのバッハ「トツカータ・ホ短調」は軽快に、シューベルト「4つの即興曲・作品90」の第2番、3番は持ち前の澄んだ音で聴かせた。バッハ「ブルーニシヤコンヌ」は、重厚な作品イ



①匂坂美佳 ②包原麻依子

メーンを返上、明るく自在な雰囲気も新鮮だった。何年か前に聴いた時は、きれいな音という印象は、象だったが、より華やかで豊かな音色になった。それがメーンのムソルグスキー「展覧会の絵」で発揮された。プログラムでと10曲でなる組曲「卵の

見せたのが鈴木理桜。ソナタと弦楽四重奏で第1ヴァイオリンを務めた。基礎がしっかりし安定感がある。全28回で、100を超す作品に挑戦。年に7、8回の超ハイペースでこなす仕度な企画だ。

大曲を飽きさせず、美しく演奏

ピアノ 包原麻依子

包原麻依子の「シューベルト幻想への旅路(25年12月18日・電気文化会館)は、美しい音に魅了された。全曲シューベルトのピアノリサイタルは珍しい。静かで演奏効果が少

殻をつけた雛の踊り」などユニークな絵の情景を、明確な音で描き出した。音に厚みが増すと思う。

カルテット 深化系 The 4 Players Tokyo

2026.4.10 (土) 18:45開演

電気文化会館 ザ・コンサートホール

加吉隆 ピアノ コンサート 2026

2026.4.25 (土) 19:00開演

しらかわホール

ミュンヘン・ゲルトナー・ブラッツ 州立劇場管弦楽団

2026.4.30 (木) 19:00開演

Orchester des Staatstheaters am Gärtnerplatz, München



31歳で他界したシューベルト晩年の幻想的な作品でまとめた。まず「4つの即興曲」作品90と142の「第3番」きれいな響きの曲調で、その旅路に導かれた。恩師・青柳晋を招いての「幻想曲作品103」連弾は、明るく躍動的で、全体のアクセントの効果もあった。メーンの「ピアノソナタ第18番」幻想は、大曲を少しも飽きさせず、見事に弾き切った実に美しい演奏だった。

心地よく聴けたが、時には陰影があるといい。音に厚みが増すと思う。

大曲を飽きさせず、美しく演奏

ピアノ 包原麻依子

包原麻依子の「シューベルト幻想への旅路(25年12月18日・電気文化会館)は、美しい音に魅了された。全曲シューベルトのピアノリサイタルは珍しい。静かで演奏効果が少

心地よく聴けたが、時には陰影があるといい。音に厚みが増すと思う。

大曲を飽きさせず、美しく演奏

ピアノ 包原麻依子

包原麻依子の「シューベルト幻想への旅路(25年12月18日・電気文化会館)は、美しい音に魅了された。全曲シューベルトのピアノリサイタルは珍しい。静かで演奏効果が少

ウィーン少年合唱団 Wiener Sängerknaben

2026.5.17 (土) 14:00開演

愛知県芸術劇場 コンサートホール

SLOVAK PHILHARMONIC ORCHESTRA

2026.6.27 (土) 19:00開演

愛知県芸術劇場 コンサートホール

京響 京都市交響楽団

2026.7.24 (土) 19:00開演

愛知県芸術劇場 コンサートホール

野村萬齋 オークストラ・アンサンブル金沢

3/24 (火) 19:00開演

愛知県芸術劇場 コンサートホール

ウィーンの伝統の継承者、至高のベートーヴェン

ルドルフ・ブッフビンダー

ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 名曲選

2026.4.9 (水) 19:00開演 (18:30開演)

しらかわホール

3年ぶりの帰還! 新田ウィーン・フィルメンバーによる

Wiener Cello Ensemble 5+1

2026.4/8 (水) 19:00開演 (18:30開演)

電気文化会館 ザ・コンサートホール

クラシック名古屋

052-678-5310

名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは

アイ・チケット 0570-00-5310

アイ・チケット web 検索

クラシック名古屋のプレイガイド

「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことでオペレーターが、丁寧に対応いたします。